

れいんぼう

鈴韻棒 取扱説明書



No.1 2 3 4 5 6 7 8

素材：黒檀



No.1 2 3 4 5 6 7 8

素材：桜

このたびは鈴韻棒をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この説明書は大切に保管してください。

はじめに

鈴韻棒は竹下雅敏氏が Sion Inc. 製の楽器「シンギング・リン®」のために特別に開発しました。叩き方に応じて、チャクラや経脈の活性化、あるいはサブ・ドーシャの誘導といった様々な作用をもたらすことができます。

東洋医学セミナーにおいて、竹下氏がシンギング・リン®を用いたチャクラ、経脈、サブ・ドーシャへの作用の講義をしており、受講者の皆様からのご要望が多かったため、商品化しました。未永くご愛用ください。

内容物一覧



説明書（本書）

鈴韻棒（素材：黒檀 または 桜）

【No.8 のみご購入の方】鈴韻棒 No.8

【8 本セットご購入の方】鈴韻棒 No.1～No.8、専用収納袋

◀ 写真の左から順に、No.1、2、3、4、5、6、7、8

使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）

■ 使用できるシンギング・リン®について



鈴韻棒は、「シンギング・リン® 漆黒 / 宇宙」

（直径約26 cm × 高さ約11 cm）でのみご使用ください。

「漆黒 / 大地」「瑠璃」などの他のシンギング・リン®商品では作用しません。

■ 使用前と使用後に捧げる“鈴韻棒使用の祈り”について

- ・次章の「鈴韻棒使用の祈り」に従って、必ず鈴韻棒の使用前後に祈り文を唱えてください。これらの祈りを行わない場合、作用しません。
- ・“鈴韻棒使用の祈り”には、ガヤトリー・マントラを用います。ガヤトリー・マントラを正しい抑揚で唱えないと祈りが聞き届けられないため、事前に弊社サイトの「ガヤトリー・マントラ」のページをよくご覧になり、正しい抑揚で唱えられるようになってください。ガヤトリー・マントラをすでにご存知の場合でも、必ず弊社サイトで案内している正しい文言と抑揚をご確認いただいた後、祈りを捧げてください。



「ガヤトリー・マントラ」
のページへ

鈴韻棒使用の祈り

1. 鈴韻棒を使ってシンギング・リン®を鳴らす前に、ガヤトリー・マントラを用いて、次のように【使用開始の祈り】を捧げてください。祈りは声に出しても、心の中で唱えても、どちらでも構いません。

使用開始の祈り *1

『母なる神様、れいんぼう鈴韻棒が正しく作用するように、シンギング・リンに光を入れてください。』

ガヤトリー・マントラ 3 回に続けて「オーム・シャンティ・シャンティ・シャンティヒ」を唱える。

2. 本書もしくは東洋医学セミナーで説明している方法によって、シンギング・リン®を鳴らしてください。
3. 一連のシンギング・リン®の使用 *2 が終了したら、次のように【使用終了の祈り】を捧げてください。

使用終了の祈り

『母なる神様、ありがとうございました。シンギング・リンの使用を終了します。』（このときガヤトリー・マントラは用いません）

*1 レインボースティックをお持ちの方へ

- 1) レインボースティックをお持ちの方が【使用開始の祈り】を唱える場合の祈り文
『母なる神様、レインボースティックが正しく作用するように、シンギング・リンに光を入れてください。』
- 2) レインボースティックをお持ちで、新たに№8 の鈴韻棒をご購入された方が【使用開始の祈り】を唱える場合の祈り文
『母なる神様、れいんぼう鈴韻棒とレインボースティックが正しく作用するように、シンギング・リンに光を入れてください。』

*2 一連のシンギング・リン®の使用とは

一連のシンギング・リン®の使用とは、奏者のシンギング・リン®を鳴らす動作が継続している状態です。間に雑談などの会話や休憩を挟む場合は区切りとみなし、会話、休憩の前に、【使用終了の祈り】を唱えてください。再開する時には、【使用開始の祈り】を行ってください。（説明などの簡単な会話なら大丈夫です。）チャクラ、経脈、サブ・ドーシャへ作用させるためにシンギング・リン®を鳴らし続ける場合、祈りの効果は継続します。複数の方へ順番にシンギング・リン®を継続して鳴らす場合も、祈りの効果は継続します。

鳴らし方についての留意事項

- ・別の作用をもたらす音を続けて鳴らす場合は、前の音を消してから鳴らしてください。同じ作用をもたらす音を続けて鳴らす場合は、前の音を消す必要はありません。
- ・シンギング・リン® のフチをこする場合、振動で鈴韻棒が一瞬または小刻みにシンギング・リン® から離れることがありますが、作用に問題はありません。鈴韻棒の扱いに慣れるよう練習しましょう。音が途切れないように丁寧にフチをこす方が、よく作用します。

使用・保管上のご注意

天然木から作られており、オイル仕上げやコーティング等の保護を一切行っていません。以下の注意事項に従って、お取り扱いや保管をお願いいたします。

- ・水濡れ、日光、極度の乾燥や湿気、熱や冷気を避けて使用・保管してください。変質・変色・腐朽・割れを生じるおそれがあります。
- ・水に濡れた場合は、すぐに拭き取って乾燥させてください。
- ・冷暖房器具などがある場所では、熱や冷気が直接当たらないように気をつけて使用してください
- ・色合いや柄は1本1本異なります。また、年月の経過とともに色合いが変わります。
- ・使用・保管の環境によっては、膨張・収縮・反り・曲がり・わずかなひび割れが生じる場合がございます。
- ・お手入れの際、水や洗剤を使用しないでください。
- ・汚れの除去には、まず乾拭きをお試ください。乾拭きで不十分な場合は、水に濡らしてかたく絞った布を使い、その後よく乾燥させてください。それでも汚れが取れない場合は、400番から600番のサンドペーパーで木目に沿って軽く研磨してください。このとき過度に研磨して形状が変わると作用しなくなるのでご注意ください。
- ・鈴韻棒については、シャンティ・フーラまでお問い合わせください。Sion Inc. へのお問い合わせはお控えください。

奏法（１） チャクラの活性化

鈴韻棒を用いてチャクラを活性化するシンギング・リン®の鳴らし方です。
チャクラに関する基本的な知識は、弊社サイトの「チャクラと波動測定」をご覧ください。また、「東洋医学セミナー」初級コース 第 9 回～第 11 回で更に詳しい解説をしています。

「チャクラと波動測定」の
ページへ



A. 使用する鈴韻棒と活性化するチャクラ

鈴韻棒は、太いものから順にNo.1～7と番号を振っています。
使用する鈴韻棒の No. によって活性化するチャクラが異なります。

鈴韻棒 のNo.	1	2	3	4	5	6	7	8
チャクラ	ムーラーダーラ	スワディシシュターナ	マニプーラ	アナーハタ	ヴィシュダ	アージュナー	サハスラーラ	ムーラーダーラ から サハスラーラ のすべて

B. 鳴らし方と作用するチャクラの系統



シンギング・リン®を鈴韻棒で叩いてから、外側のフチを鈴韻棒でなぞるようにこすります。振動で鈴韻棒が跳ねることがあるので、力のかけ方とこする速度を手加減しながら音が途切れることのないように丁寧にフチをこすってください。
作用させたいチャクラの系統に従って、4通りの叩き方があります。

チャクラの系統	鳴らし方
体 外	外側から 2 度叩いてから鈴韻棒でフチをこする
体 表	外側から 1 度叩いてから鈴韻棒でフチをこする
神経叢	上から 1 度叩いてから鈴韻棒でフチをこする
脊 髄	内側から 1 度叩いてから鈴韻棒でフチをこする

C. 回転方向

チャクラの放出方向を活性化するには、左回り（反時計回り）、チャクラの吸収方向を活性化するには右回り（時計回り）にシンギング・リン®の外側のフチをこすります。



チャクラの回転方向	フチをこする向き
放 出	上から見て左回り
吸 収	上から見て右回り

例) 体表のアナーハタ・チャクラの放出方向を活性化する場合

No.4の鈴韻棒でシンギング・リン®のフチを外側から1度叩き、続いてシンギング・リン®の外側のフチを左回りにこすります。

奏 法（２） 経脈の活性化

鈴韻棒を用いて、経脈を活性化する鳴らし方です。経脈に関する基本的な知識は、「東洋医学セミナー」初級コース 第2回～第4回に載っています。

A. 鈴韻棒の使い方

経脈に作用させる場合、鈴韻棒は鐘を突くように、先端をシンギング・リン®に当てるようにして叩きます。

B 使用する鈴韻棒と突く方向で作用する経脈



使用する鈴韻棒のNo. と、シンギング・リン®の外側・内側のどちら側を突くかによって、活性化する経脈が決まります。



鈴韻棒の No.	1	2	3	4	5
外側を突いた時に作用する経脈	大腸	膀胱	胃	心	胆
内側を突いた時に作用する経脈	腎	小腸	脾	肝	肺

C. シンギング・リン® の設置の向き

シンギング・リン®を通常の向きで設置して使用した場合、太陽の十二経脈を活性化します。シンギング・リン®の上下をひっくり返して下向きに設置して使用した場合、月の十二経脈を活性化します。



シンギング・リン®の向き	経脈の系統
上向き（通常の向き）	太陽の十二経脈
下向き（上下が逆）	月の十二経脈

◀ 月の十二経脈を活性する場合の向き



シンギング・リン®を上下にひっくり返して叩く場合は、安定性のある下部が大きくて口の小さい花瓶の様なものの上部に滑り止めのシートなどを載せて、逆さまにしたシンギング・リン®の中央部を載せます。

D. シンギング・リン®の奏者・聴き手の性別と作用

シンギング・リン®を奏者が左手で突くと奏者の左半身の経脈を、右手で突くと右半身の経脈を活性化します。奏者と聴き手が同性の場合、活性化する経脈は同じ側になります。奏者と聴き手が異性の場合、奏者の叩く手と聴き手の活性化する経脈の左右が逆転します。

奏者と聴き手の性別	左手で突く	右手で突く
同性	左半身の経脈	右半身の経脈
異性	右半身の経脈	左半身の経脈

例) シンギング・リン®の上下をひっくり返して下向き（通常とは逆）にし、No.3の鈴韻棒を右手に持ち、内側から突いた場合、奏者と同性の聴き手は右半身の月の脾経脈が、奏者と異性の聴き手は左半身の月の脾経脈が活性化します。

奏法（3） 各作用を持つ水を作る方法



シンギング・リン®の中に水を入れた容器を置いて鈴韻棒を用いて鳴らすことで、その鳴らし方によって生じる作用が水に転写します。飲用、外用に用いることができます。



鳴らす回数は1回で十分ですが、できれば音が消えるまでの約2～3分そのままにしてください。

シンギング・リン®の向きに応じて、次のように水を入れた容器を置いて鳴らします。

シンギング・リン®の向き	方 法
上向き（通常の向き）	シンギング・リン®の内側に水を入れた容器を置く
下向き（上下が逆）	シンギング・リン®の上に水を入れた容器を置く

その他の使い方

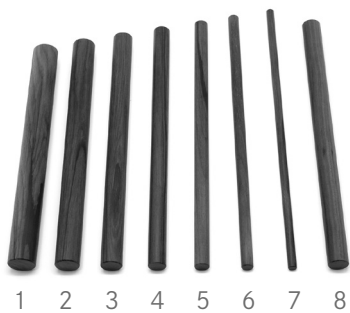
「東洋医学セミナー」の次の回では、鈴韻棒のさらに高度な使い方を学ぶことができます。ぜひご受講いただき、シンギング・リン®をご活用ください。

中級コース第4巻（第10回）	経脈の活性化を応用したヒーリング方法
中級コース第6巻（第17回）	肉体のサブ・ドーシャの誘導方法
上級コース第4巻（第10回）	四身体体のサブ・ドーシャの誘導方法



「東洋医学セミナー」
のページへ

MEMO



商品のお問い合わせ

Shanti Phula

シャンティ・フーラ合同会社

広島県東広島市福富町上竹仁290-13



電話

082-401-3367

平日 10:00 ~ 17:00 受付



FAX

082-401-1239

24時間受付



メール

